

第3回 RC・ZC 会議資料

12R 2Z ZC 高松 充

① ゾーン内の調和への合同例会・合同アクティビティの実施について

ゾーン内の合同アクティビティといたしましては、当初より事業計画として取り上げておりました能登復興支援チャリティボウリング大会を開催いたします。第2部の表彰式・懇親会は2月度の振替例会とされているクラブもあり、当日は会場に万博特別委員会がミャクミャクの着ぐるみを着て、ダンスのお披露目に来てくれます。当日、ボウリングに参加してくれた子供達やレオクラブの学生達、そして地区役員や各クラブ会長にもダンスを踊ってもらい、会場を盛り上げ、7クラブの親睦をはかりたいと考えております。

② 会員拡大10%について（ゾーン内）

期首会員数 248 名 202.1 月末会員数 252 名
2025.6 月末会員数 275 名（目標） 2025.6 月末会員数 257 名（見込み）

③ ゾーン内の新クラブ結成・新支部結成及び会員拡大の新たな取り組みについて

新クラブ結成の動きはゾーン内ではまだありません。支部結成に関しましては、河内長野 LC が以前から交流をはかられているローカルラジオ局の人達への働きかけは、今のところ進展がないようですが待ち望んでいるところです。

会員拡大については、期首より各クラブとも新入会員の認証式も頻繁にあり、2ゾーンすべてのクラブにガバナーメッセージを届けに伺いました。下半期は少し入会状況も足踏みとなっておりますが、何とか頑張っていきたいと考えております。

④ 特性を生かした新しいアクティビティについて

12R2Z は1ゾーンと比べメンバーの数も少ないので、当初より①で述べたような7クラブ合同での事業や例会が望ましいと考えておりました。地域の町おこしや献血・清掃など、社会啓発事業も南河内地域全体で行政への働きかけを行い、地域密着型事業も7クラブ共通目標と位置づけ取り組んでおります。またそういった試みが各クラブの交流や新入会員の育成にも繋がると考えております。

⑤ 他団体との協働（共催アクティビティ）について

他団体との協働に関してはまず、毎年行われている流域市町村一斉の石川クリーン作戦があげられます。羽曳野地域で40数年前に呼びかけした清掃活動は、流域市町村の賛同を得て、他団体も巻き込みながら共催アクティビティとして定着してまいりました。またこの事業のように長年定着し、政策目標もきちんと唱える事の出来たアクティビティがまた新たに生まれれば素晴らしい事だと考えます。

⑥ ゾーン内の新会員の交流と育成について

今年度はリジョン・チェアパーソンの方針の一つとしてゾーンを越えて他クラブへの例会訪問を呼び掛けてもらっています。上半期は実現できませんでしたが下半期は特に新入会員を中心に他クラブへの例会訪問の機会を持ち、会員同士の親睦をはかりたいと考えております。

⑦ LCIF 協力（ハーモニー100 キャンペーン）について

全クラブ正会員数での寄付済みとの報告を受けております。

⑧ ゾーン内の問題点があればお書きください。

2 ゾーンでは1クラブがメンバー減少によりクラブ運営が困難として親クラブへの合併の話があがっております。先日の諮問委員会でも当該クラブ会長よりお話がありました。このクラブは20年近く前に我々2ゾーン6クラブの先輩メンバーの方々の手によってつくられたクラブであり、大変残念な事です。今後も色々と合併に向けての手続きに入っておられるようで、3月の諮問委員会で当該クラブ会長よりさらに進展した説明があるとの事です。

⑨ その他 特筆すべき事柄

特にありません